

令和2年度 林業普及週間現地情報 (9/7~9/11)

森林管理課

モッコクの挿し木

9月10日(木)

八重山農林水産振興センター農林水産整備課では、昨年度、八重山特別支援学校の校内で生育しているモッコクから枝を採取し、挿し木を行っている。

モッコクは、サカキ科モッコク属の常緑小高木である。材は堅硬で、割裂が少なく、対蟻性がある。琉球王朝時代には伐採禁止木に指定され、平民は本材で家を作るのが禁じられていたほど、一級建築材として昔から重宝されてきた。

今夏、モッコクの挿し木から新芽が出てきたため、発根状況を確認したところ、見事に発根していることが確認できた。

今後は、当該挿し木を島産材の知識・技術の継承及び普及活動を目的に活動しているモッコク会へ提供し、モッコクの育苗に関する知見を共に深めていきたい。



特別支援学校から採取した挿し木

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)